

人気!!

家庭教育・子育て学習会



～だしを使ったごはん作りに親子で挑戦～

マルトモ㈱&保健センター&伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

8月1日(水)伊予市保健センターに於いて、マルトモ株式会社開発部員の方を講師にお迎えし、保健センターの栄養士と協力して市内参加希望親子を対象に、伊予市の特産品「花かつお」について親子で学びました。そして、だしをとってごはんづくりに挑戦しました。

マルトモさんのお話 「花かつおのひみつ」

世界一固くて世界一薄い食品「花かつお」が食卓に届くまでや、かつお節の歴史、原料、製造方法、栄養について学びました。参加者はかつお節削りの体験をし、削ったかつお節でだしを取って香りや美味しさを確かめました。参加者は、マルトモ開発部の方のスライドやクイズ形式の話を面白く楽しいと興味深く聞き入り、笑い声があふれていました。



だしとり体験! とった「だし」でごはんづくりに挑戦!

参加者は4班に分かれ、花かつお、花かつお+昆布、いわし削り、さば削り+いわし削りの4種類のだしを取って調理をしました。保健センター栄養士の指導のもと、親子で協力しながら積極的に野菜を切ったり、卵焼きを巻いたりして、親子のコミュニケーションを育みました。「ともに食べる」「ともに作る」食事の意義を学んだ有意義な時間でした。



完成!!



子どもの声

お母さんと一緒にだしを使ったごはんを作るのも楽しかったし、食べたらいしかったです。

かつお節について、とてもくわしく知ることが出来ました。いろんな料理を作って、食べて楽しかったです。とくにがんばった卵焼きをまた家で作りたいです。

たっぷりのかつお節を使うと、塩やしょうゆを入れなくても美味しくなることが分かりました。いわし節やカツオ節によって風味が違うのも興味深かったです。

大好きなかつお節について、くわしく知れて楽しかったです。だしの料理も美味しく、親子で素敵な時間になりました。

保護者の声



2018年11月発行
発行：伊予市家庭教育・
子育てサポートグループ

第23号

ほのほの



子育てがんばっています!

子どもの頃から兄弟が大の仲良しで、大人になった今でもよく長男の家に集まりみんなで遊んだり、子育ての話をしたりしています。

これからも、家族みんなで助け合い、楽しみながら子育てを頑張りたいと思います。

兄・妻：橋本 拓真、あすさ
まなと ここな かのん
子ども：真翔、心菜、叶夢
(双海町上灘)

弟・妻：橋本 将一、水紀
れお
子ども：鈴央
(下吾川)

個別の相談や少人数グループの話し合いを希望される方は下記までご連絡ください。

連絡先

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

☎982-5155 FAX.982-5156
〒799-3193 伊予市米湊820 (伊予市教育委員会社会教育課内)



伊予市立図書館でのコラボイベント

図書館と双海の子ども読み語り隊と家庭教育・子育てサポートグループ

「足スタンプDEあそび」



6月30日(土)伊予市立図書館で、双海子ども読み語り隊による絵本の読み語りや動物足跡クイズ、子育てサポートグループによる足スタンプ遊びを行いました。「パンダの足跡ってこんなんだ」「キリンの足跡おもしろい」と子どもたちは、色々な動物の足跡に興味津々。さて、みんなの足跡はどんなのかな？全員で足裏に絵具をつけ、部屋に敷き詰めた紙の上を思いっきり歩きました。はしゃぐ子どもたち、それを見ているお母さん。完成した足スタンプを見ながら、「大きくなったな」と子どもたちの成長に、にっこりされていました。



子どもの声

少し恥ずかしかったけど楽しかったです。

読み語り隊のお姉ちゃんたちと体を動かしながら一緒に本を読めたのが楽しかったです。

動物の足跡クイズが面白かったです。



家では、なかなか絵具を使うことがないので楽しかったようです。

保護者の声

普段、家でしないことが出来てとても良かったです。子どもたちの楽しそうな笑顔が見れてよかったです。

足型で作品を作りました。自分の足跡が何に見えるか想像しながら作ったので、想像力が豊かになると思いました。

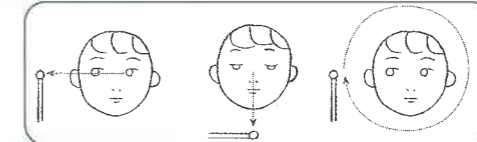
子育て悩み相談 「文字(漢字)の読み書きが苦手な子ども」

- ・平仮名(漢字)が読みにくい・書きにくい
- ・本読みで同じ行を何回も読む・行とばしをする
- ・整った文字が書けない
- ・板書を写すのに時間がかかる



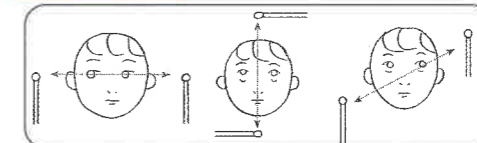
原因の一つに眼球の動きのまずさがあります。下記の三つの眼球の動きを子どもにさせて下さい。スムーズに動いていなかったら練習しましょう。

追従性眼球運動



棒の先を見続ける。
左右に10回
上下に10回
円周を5回

跳躍性眼球運動



棒の先を交互に見る。
左右に10回
上下に10回
斜めに10回

両眼視運動



棒の先を見続ける。
前から近くに5回(寄り目)
近くから離れる5回(開き目)

【見る力】奥村智人/著 中央法規出版社

上記の眼球運動を毎日、もしくは2・3日に一度行ってみてください。2ヶ月位すれば成果が現れ、半年くらい行えば、文字の読み書きが楽になってくると思います。無理をせず、楽しい雰囲気で行きましょう。

中山保育所での学習会

6月 水

保育参観日を利用して、子育てについて講話とグループでの話し合いを行いました。100パーセントの参加率で、ご夫婦で参加されている方も多く、子育てへの意欲が感じられました。行き届いた保育や中山の豊かな自然環境の中で、子どもたちがのびのびと育っていました。

講演「乳幼児期は人格の基礎をつくる」

乳児期：人を信頼する感性が最も育つ時期。親子関係がその第一歩。子どもが望んだことを望んだとおりに満たしてあげましょう。

幼児期：親の希望や社会のルールを子どもに伝えていく時期。しつけは繰り返し教え、待ってあげましょう。親子の信頼関係が育っていれば、多少厳しいしつけをしても大丈夫。



普段、他の保護者の方とお話する機会も少ないので、子育ての悩みなどを話すよい時間となりました。

しつけの面で保育所に頼りがちですが、家庭でどれだけ愛情をもって接するかで子どもの人格までもつくれるということなので、子どもが呼ぶ時は答えられるよう意識したいと思います。

南山崎地区子どもを語る座談会

7月 水

有意義な夏休みを過ごすために大切なことについて、南山崎小学校と港南中学校から説明がありました。

続いて、伊予警察署生活安全課長の佃様から、「情報モラルについて」という演題で話していただきました。その後、グループで「子どもの健全な育成を図るためにできること」について話し合いをしました。

- 身に覚えのないメールやはがき、電話にはすぐに対応せず、警察などに連絡する。
- 子どものスマホの使い方をしておく。

～グループでの話し合いから～

- スマートホンの使い方やルールは、家庭でしっかり決めて使わせる。困ったことがあったら、必ず親、先生などの大人の人に相談するように子どもに伝える。
- スマートホンは、いじめのケースにもつながるので、使用状況を保護者は知っておく。



南伊予児童クラブの学習会

7月 水

夏休みに南伊予児童クラブで、元気いっぱいの子どもたちと絵本を楽しみました。

「えがないえほん」と「まるまるまるのほん」で大笑いした後、参加型絵本で遊び、怖い話で想像をふくらませ、最後は「しあわせならてをたたこう」のしかけ絵本で、みんなで体を動かし、しあわせいっぱい笑顔で終わりました。

